

# ご当地グルメで復興へ

気仙沼

## 南町 紫市場 食欲そそったF-1大会

宮城、岩手両県沿岸の仮設商店街による食の交流イベント「復興グルメF-1大会」が20日、気仙沼市南町の「南町紫市場」で開かれた。市内外から約1500人が来場（主催者発表）。震災から立ち上がった各仮設商店街を応援しようと、自慢のご当地グルメを食べ比べ、舌鼓を打った。

## 地元・サンマティーヤが優勝

初開催の大会には、三陸さんさん商店街がエントリーした。岩手県大槌町や陸前高田市、石巻市など6カ所の仮設商店街が参加。気仙沼・本吉地方からは、「南町紫市場」と南三陸町の「南

理（1品）を各300円で販売。来場者が割り箸で投票し、人気ナンバーワンを決めた。

「紫市場」は、サンマの甘露煮を野菜と一緒にピザ生地にはさんだ「気仙沼サンマティーヤ」、南三陸さんさん商店街は名産のタコを油で揚げ、カ

各地のご当地グルメが並んだイベント



レーに乗せた「南三陸さんさんタコカレー」を販売。話題性もあり、開始早々から買い求める人の姿が続いた。

紫市場の村上力男理事長は「各商店街が力を結集し、新商品の開発などをきっかけに三陸沿岸の食を全国に発信し、活性化を図りたい」と話した。今後も継続開催するという。